

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成31年2月21日 (2019.2.21)

【公表番号】特表2018-506266(P2018-506266A)

【公表日】平成30年3月8日 (2018.3.8)

【年通号数】公開・登録公報2018-009

【出願番号】特願2017-529058(P2017-529058)

【国際特許分類】

A 2 3 B 7/157 (2006.01)

C 0 1 B 39/14 (2006.01)

A 2 3 L 3/358 (2006.01)

B 6 5 D 85/50 (2006.01)

【F I】

A 2 3 B 7/157

C 0 1 B 39/14

A 2 3 L 3/358

B 6 5 D 85/50 C

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月10日 (2019.1.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

パラジウムで交換された L T A ゼオライトを含むアクティブパッケージであって、パラジウムの量が 0 . 1 w t % から 5 w t % の間を含む、アクティブパッケージ。

【請求項 2】

前記 L T A ゼオライトが総ゼオライト含有量の 7 5 重量 % を超える量存在している、請求項 1 に記載のアクティブパッケージ。

【請求項 3】

交換されたゼオライトの量が、生鮮食品のグラム重量当たり 0 . 3 μ g から 3 0 μ g の間を含む、請求項 1 または 2 に記載のアクティブパッケージ。

【請求項 4】

前記パラジウムで交換されたゼオライトが、5 0 n m から 5 0 0 μ m の間を含む平均寸法を有する粉末の形態である、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のアクティブパッケージ。

【請求項 5】

前記粉末が、パッケージ内に配置された透過性の袋の中に含まれる、請求項 4 に記載のアクティブパッケージ。

【請求項 6】

前記透過性の袋の材料が、低密度ポリエチレン (L D P E)、高密度ポリエチレン (H D P E)、ポリプロピレン (P P)、エチレンビニルアセテート (E V A)、スチレンエチレンブチレンスチレン (S E B S)、ポリ乳酸 (P L A)、ポリエステルから選択される、請求項 5 に記載のアクティブパッケージ。

【請求項 7】

前記粉末が、ポリマー材料に分散されている、請求項 4 に記載のアクティブパッケージ

。

【請求項 8】

前記ポリマー材料が、アクリル、アクリル スチレン、 ビニル、および アルキドコポリマー、ウレタン アクリル、脂肪族 ウレタン、ウレタン、ポリエステル、エポキシ、ポリウレタン、ポリアミド、メラミン、ポリスチレン、フェノール樹脂、エチレンビニルアルコール (EVOH)、ポリビニルアルコール (PVA)、水性または水希釈性ラテックスから選択される、請求項 7 に記載のアクティブパッケージ。

【請求項 9】

分散された粉末を含む前記ポリマー材料が、5 から 50 μm の間を含む厚さを有するフィルム形態である、請求項 7 または 8 に記載のアクティブパッケージ。